
遠い遠いむかしの事

宇ノ鹿 すい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遠い遠いむかしの事

【Nコード】

N3503BA

【作者名】

宇ノ鹿 すい

【あらすじ】

遠い遠い昔のことみたいな

遠い遠い昔のこと。幼い子供が柔らかかな服を皮膚に馴染ませて道を歩いていた。手を繋いでいる人は大好きで仲の良い大人。子供は屈託なく笑って、そうそれはお花畑のような呑気さで、快活さで、気になったことを尋ねる。知りたいと思ったことを言葉にして、話したいと思ったことを手の温もりを伝えてくれる人に話してみる。答えて欲しい、と思いつながら。それはきつと遠い遠い昔のこと。まだ真っ青な空が張り付いた天井で閉鎖的だなんて知らなくて、サンタクロースがもしかしたら本当にいるのかもしれないと、密かに胸内で思っていて、でも大人が扮装している偽サンタクロースもいるんだと知っていて、ませているつもり、小さな子供。自分の背丈くらいある大きなぬいぐるみを胸に抱き寄せて、一人にしないでねと話しかけては、温かい手を持っている人には聞けなかったサンタクロースについてのことを尋ねてみたりする。まだぬいぐるみが夜中に動き出すかもしれないと信じていた頃。ほんの少し、信じていた頃。遠い遠い昔。奏でられるピアノの音のひとつひとつに、安らぎを記憶していた幼い子供。まだ遠い空の向こうに見知らぬ宇宙人がいるかもしれないと期待して、自分を閉じ込める箱の中から飛び出せば、見知らぬ何かが自分をお楽しみに連れ出してくれるかもしれないと思っていた。絵本の中に手を伸ばそうと思つて、テレビの中からお化けが出てくるかもしれないとも、思っていた。見上げる月は何で車に乗っている時には、あんなに速く動くのだろう、と首をかしげて。十分は遅いと思つて、三分は早いと思ひ、少しの沈黙も堪えられず何かを喋つてみて、甘えてみる。やがて自分が大きくなつたら立派な大人になれるのかな、がんばれるだろうか、駄目かもしれない、大変だなあ。そんなことを想像して憂鬱になり、ふと眠るのが怖くなる。寝てしまつたら朝になつてしまふ。朝になつて

しまつたら大人に一步近づいてしまふのかもしれない。そしたら、大変な気がする。だから、ぬいぐるみを胸に抱いてギュツと抱きしめて、温かい手のぬくもりを忘れぬようにグー、パー、としてみても、暖かな毛布の中でたゆたい、やがて眠りに落ちる。夢の中で偽サンタクロースがひそひそと窓から逃げ出そうとするのを見つけて、声を出して笑うと、偽サンタクロースがUFOに乗って夜空に消えて行くのを確かに見る。感動して自分も行きたいと思つて温かい毛布を振り返る。外は寒い。ここは、温かい。

遠い遠い昔のこと。幼い子供たちは柔らかな服を皮膚に馴染ませて道を歩いていた。

まだ見知らぬことをたくさん抱え、目の前にあるお茶碗に何の意味があるのかも知らない子供たちが、餓えを知らずに安らかな眠りに落ちる幸運を。神さまは微笑んで眺めていらつしやっただろうか。右手では安らかな寝息の子供たちを。左手には血に塗れる兵士や、貧相な身体の赤ん坊を。僕達もきつとそつだ。右手に柔らかな綿を持ち、左手に人を刺し殺すナイフを持つ。

遠い遠い昔のぬいぐるみはもうなくなって、サンタクロースがUFOに乗って夜空に消えたことをもう忘れてる。果てのない暗闇に手を伸ばして掴むのは綿ボコリ。温かな大人だけど、それはただ生きてるから温かいというだけ。こんなにも夢を食い潰した。

遠い遠い昔の事。子供は屈託なくすねて、誰かが近くに居る安心を携え、身体の小ささに震えながらも明るく道を跳んでいく。木に登って。

両手が泥に汚れながら、無邪気に傷つけることの恐ろしさを知つていき、自らのことも傷つけていく過程で、自分はサンタクロースにはなれないと気が付く。

全ては遠い遠い昔の事。学校でみんながいたこと。良い思い出ばかりじゃなくても、みんなの騒いでいる姿が近くにいたこと。全ては遠い遠い昔の事。

消えていってしまったけど、頭の中で思い起こせる、別人のよう

な自分の過去の思い出。

子供達は、右手と左手に乗せられている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3503ba/>

遠い遠いむかしの事

2012年1月9日01時53分発行